

科目名 在宅看護援助論 I	配当時期 2 年次	講義担当者 川上 瞬 香月 麗 田中裕貴	
時間割表記名 在宅看護援助論 I			
単位数 1単位			
時間数 30 時間(15 回)			
事前学習内容			
授業目標			
<p>1. 在宅ケアの連携とマネジメントを理解することができる。</p> <p>2. 訪問看護時の看護者の姿勢と態度について習得できる。</p> <p>3. 在宅において対象に応じた生活支援が実践できる。</p>			
DPとの関連			
<p>DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・靈的に統合された生活者として理解することができる。</p> <p>DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。</p> <p>DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。</p> <p>DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。</p> <p>DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。</p>			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 訪問看護時の看護者の姿勢と態度 初回訪問とそのプロセス	講義	テキスト①②
2	2. 対象に応じた生活支援ー①	講義	テキスト①②
3	1) 食事に関する支援(胃ろうを造設している対象の支援) 2) 清潔に関する支援 (1)食事の援助:経管栄養(胃瘻)	講義	テキスト①②
4	3) 移乗・移動に関する支援	講義	テキスト①②
5	(1)活動の制限と生活行為への支援 (2)在宅での移動・移乗の特徴 (3)住まい・生活環境のアセスメント (4)補助具 (5)住宅改修 [実技]活動:ポジショニング、移動・移送	講義	テキスト①②
6	4) 排泄に関する支援	講義・演習	テキスト①②
7	【実技】ストーマケア(人工肛門、人工膀胱) カテーテル管理 5) 褥瘡の予防とケア	講義・演習	テキスト①②

8	3. 対象に応じた生活支援-2	講義	テキスト①②
9	1) 在宅酸素療法を受けている対象の看護		
10	2) 在宅人工呼吸器療法(HMV)を受けている対象の看護 (1) 非侵襲的陽圧換気(NPPV)を受ける療養者の援助 (2) 気管切開下陽圧換気 TPPV)を受ける療養者の援助		
11	3) 在宅中心静脈栄養法を受けている対象の看護 (1) 在宅中心静脈栄養とは (2) 在宅中心静脈栄養の適用条件 (3) 在宅中心静脈栄養を用いる療養者への在宅看護 (管理・必要となる援助・指導)	講義	テキスト①②
12	4) 在宅での腹膜透析における看護	講義	テキスト①②
13	5) 薬物療法に関する支援 (1) 地域・在宅看護における与薬 (2) 在宅における与薬のアセスメント (3) 与薬方法ごとの在宅ケアのポイント	講義	テキスト①②
14	6) 在宅における疼痛緩和ケア	講義	テキスト①②
15	筆記試験(45分)まとめ(45分)	試験(筆記)	
受講上の注意			評価方法 筆記試験
使用するテキスト			
① 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤. 医学書院			
② 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践. 医学書院			
③ 看護実践のための根拠がわかる在宅看護技術. メディカルフレンド社			
参考文献			